令和８年度 感染癌シンポジウム

本研究集会は、遺伝子病制御研究所の全国共同利用・共同研究拠点活動の中核を担う情報交流の場です。平成 21 年度より継続して開催されており、感染癌に密接に関わる感染、免疫、癌の分野を超えた研究交流を推進してきました。

令和８年度は、癌研究の第一人者である畠山昌則先生、ウイルス感染研究の世界的権威である脇田隆字先生の二大講師をお迎えします。癌悪性化の最新機構から抗 HBV 療法開発の最新動向まで、分野を超えた最先端の知見を共有します。

講 演

「mRNA splicing switches as regulators of cancer cell malignancy」

畠山 昌則 先生

遺伝子病制御研究所・特任教授 / 微生物化学研究所・部長

「HBV research and recent progress of anti-HBV therapeutics development」

脇田 隆字 先生

国立健康危機管理研究機構 JIHS・副理事長

2026 年

11 月 30 日 (月)

16:30 - 18:05

会 場

医学部学友会館 フラテホール
（札幌市北区北 15 条西７丁目）

参加費無料　一般公開

< 主催 >

IGM Institute for Genetic Medicine HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学
遺伝子病制御研究所

< 共催 >

国立大学共同利用・共同研究拠点事業、機能強化事業

「新たな学際領域を生み出す異分野融合研究拠点をコアにした若手研究者育成」

「フォトエキサイトニクス研究拠点～光励起状態制御の予測と高度利用～」

問い合わせ : 北海道大学遺伝子病制御研究所・山梨大学大学院総合研究部　森石 恆司 (kmoriishi@yamanashi.ac.jp)
北海道大学遺伝子病制御研究所・紙谷 尚子 (naokokam@igm.hokudai.ac.jp)

Background vector by Vecteezy